

地球温暖化対策実行計画による平成20年度温室効果ガスの削減状況

和寒町地球温暖化対策実行計画は、行政としての先導的、模範的な役割を果たすため、一事業所（役場）として地球温暖化防止に向け、温室効果ガスの削減目標や取り組みを具体的にまとめたもので、平成20年10月に策定しました。

計画では、平成19年度（基準年）の温室効果ガスの排出量を基準として、平成24年度までに基準年比で3.5%の排出削減を目標としており、その実効性を高めるため取り組みの状況を定期的に調査することになっています。

今回、平成20年度の取り組み状況を調査した結果、基準年と比較して、11.04%の温室効果ガスの削減となり、表1に示したとおり、自然条件等（※2）の影響による減少が8.36%、削減の取り組み努力による減少が2.68%となりました。

燃料別の内訳は表2のとおりです。

温室効果ガス（二酸化炭素CO₂）排出量比較表

（表1）

（kg-CO₂）※1

	H19年度 CO ₂ 排出量	H20年度 CO ₂ 排出量	削減量			
			CO ₂ 排出量	削減率	自然条件 （※2） による減	取り組み （※3） による減
温室効果 ガス	3,485,547	3,100,888	384,659	11.04%	8.36%	2.68%



- ※1 kg-CO₂の記号とは → 温室効果ガスの二酸化炭素の排出量に使われる単位で、ガソリン等の燃料に係数を掛けて算定しています。
- ※2 自然条件とは → 暖冬による影響の他、施設や設備の廃止などにより削減したと考えられるものを算定しています。
- ※3 取り組みとは → 「施設の暖房を下げる」「電気節電」など、日頃の取り組みにより削減したと考えられるものを算定しています。

燃料別温室効果ガス排出量比較

（表2）

（kg-CO₂）※1

	H19年度 CO ₂ 排出量	H20年度 CO ₂ 排出量	削減量				H24年度 CO ₂ 排出量 目標
			CO ₂ 排出量	削減率	自然条件 （※2） による減	取り組み （※3） による減	
ガソリン	52,258	42,901	9,357	0.27%	0.01%	0.26%	0.03%
灯油	609,022	535,507	73,515	2.10%	1.99%	0.11%	1.38%
軽油	135,488	135,150	338	0.01%	0.00%	0.01%	0.22%
A重油	964,261	809,008	155,253	4.46%	4.40%	0.06%	0.96%
LPG	20,739	20,149	590	0.02%	0.00%	0.02%	0.01%
電気	1,703,779	1,558,173	145,606	4.18%	1.96%	2.22%	0.94%

削減理由

ガソリン	→	ガソリンは主に公用車や各施設の作業車の燃料として消費されています。暖冬による除雪機の稼働が少なかったことや公用車のエコドライブの実施による削減があげられます。
灯油	→	主に施設の暖房として消費されています。暖房温度管理による取り組みと、暖冬影響により、和寒小学校や公民館等で灯油削減量の35%を占める結果となりました。
軽油	→	主に大型公用車（バス）や各施設の作業車です。主な要因としてはバスを1台廃車にしたことで削減となりました。
A重油	→	灯油と同じように主に施設の暖房用として消費されます。暖房温度管理による取り組みで青少年会館、総合体育館、研修館等々でA重油削減量の83%の削減となっています。
LPG	→	主に調理・給湯での使用です。主に研修館等の削減となりました。
電気	→	主に施設の動力や暖房用として消費されます。東山スキー場のリフト運行や各施設の暖房量が暖冬の影響により大きく削減されており、これらの理由による削減が電気削減量の47%を占める結果となりました。